

老人保健の対象者

昭和7年9月30日以前に生まれたかた
65歳以上で一定の障害のあるかた

平成十六年度に秋田市でかかった老人保健医療費は約三二〇億円で、合併などにより、前年度より二九億円増えました(左のグラフ1)。一人当たりすると年に七九万二千円がかかった計算となり、前年度より三万五千円増えています。

その使われかたをみると、入院費用が医療費全体の五割以上を占めています(グラフ2)。

老人保健医療費は、自己負担(一割または二割)以外の部分を、国民健康保険など、各種健康保険からの拠出金(支払基金)や国、県、市の負担金(税金)などでまかっています(グラフ3)。

問い合わせ

障害福祉課医療福祉室
老人・福祉医療担当
電話(866)2513
ファクス(863)6362

* 昭和七年十月一日以降に生まれた七十歳以上のかたの医療費については、それぞれの加入している健康保険団体へお問い合わせください

老人保健医療費が増え続けています

みんなで支える医療費 有効に使いましょ



秋田市の六十五歳以上の人口は七万人を超え、市民のほぼ五人に一人が高齢者と呼ばれる状況になっています。

おもに七十歳以上のかたが受給している老人保健医療制度の医療費も、年々増加し続けています。秋田市では、どのくらいの医療費が使われているのかみてみましょう。

老人保健医療費は、国民全体で支えています。医療費を有効に使うため、一人ひとりが、病気の予防や健康づくりに取り組むのはもちろんのこと、次のことも心がけましょう。

病気の早期発見と早期治療を心がけましょう

かかりつけのお医者さんを持ちましょう

お医者さんを信頼し、指示を守り、同じ病気でむやみに複数のお医者さんにかかるのはやめましょう

薬は、お医者さんの指示どおり正しく服用しましょう

限度額を超えた分は戻ってきます

医療費が
たくさん
かかっても...



老人保健医療制度では一か月の医療費の自己負担限度額が決められています(左表)。一か月に支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合、未申請のかたには、市から「老人保健高額医療費支給申請書」が送られます。申請書を提出すると、指定した預金口座に自己負担限度額を超えた金額が、後日振り込まれます。障害福祉課に直接申請において必要はありません。

医療費の支払いの負担を軽くするため、入院したときは限度額を超えた分を初めから支払わないしくみになっています。このため、一か月の医療費(食事・パジャマ代は除く)の支払いが入院のみであれば返還はありません。

1か月の医療費は、病院・診療所・歯科の区別はなく、薬局で支払った金額も合わせて計算します。

医療費の自己負担割合と1か月の自己負担限度額

区分	自己負担割合	自己負担限度額(1か月)	
		外来(個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
一定以上の所得のあるかた※1	2割	40,200円	72,300円+(医療費が月に361,500円を超えた場合はその超えた分の1%)
一般	1割	12,000円	40,200円
市民税非課税世帯のかた※2 市民税非課税で所得が一定以下の世帯のかた※3		8,000円	24,600円 15,000円

- 1...老人保健対象者とその同一世帯の70歳以上のかたに、市民税の課税標準額が145万円以上のかたが1人でもいるかた。ただし、70歳以上のかたが2人以上の世帯で年収621万円未満、単身世帯で年収484万円未満の場合は1割負担
- 2...世帯員全員が市民税非課税の世帯
- 3...所得が0円の世帯(例:年金収入のみの場合...単身世帯で年収約65万円以下、夫婦2人世帯では年収約130万円以下)

健康万歩計



ドクターからのちょっとした健康アドバイスを紹介するこのコーナーは、今回をもって終了します。ご愛読ありがとうございました。



今月のドクター
中川 正康 先生
 (市立秋田総合病院 循環器内科科長)

心不全を疑う症状とは 気になる症状は専門医に相談を

「心不全」とは一見、病気の名前のようですが、正確には病気の状態を表すものです。心臓自体の病気（弁膜症、心筋梗塞、心筋症、高血圧性心疾患、不整脈など）や、心臓病以外の病気（腎不全、高度な貧血、甲状腺疾患など）が原因となり、心臓が通常の働きを維持できなくなった状態を心不全といいます。

心不全の症状には、おもに次の3つのものがあります。

動いたときの息切れ、動悸、疲労感

激しい運動をすれば、もちろん誰でもこのような症状を伴いますが、心不全のときは今まで普通に行っていた作業や、普通に歩いていた距離でも、息切れや疲労感を生じてつらくなります。

さらに病状が進行すると、安静にしているときもこれらの症状が発生します。心不全ではあおむけになると呼吸困難が悪化するというのが特徴です。



むくみ

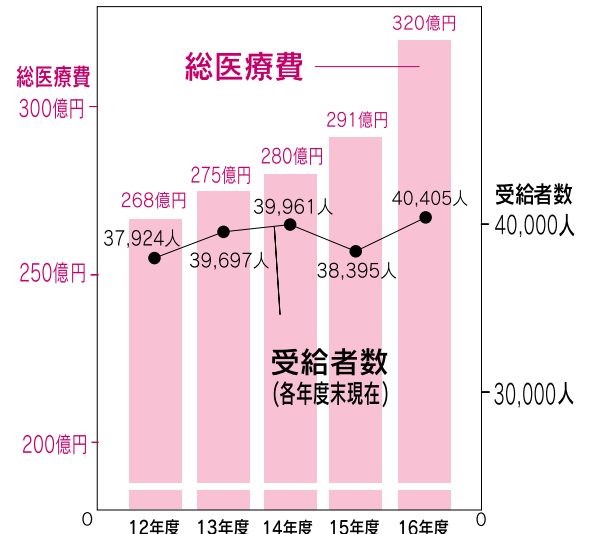
おもに足の甲やすね、顔にむくみを生じます。痛みや熱感、皮膚の色の变化などはなく、腫れているところを指で押すと、しばらく指のあとが残るような状態です。心不全でなくとも、特に立ち仕事の女性などでは、夕方になると足がむくんで靴がきつくなるというかたも少なくありません。朝起きたときにむくみがなくなっていれば、通常問題ありませんが、朝になっても良くなっていない、または悪化している場合は要注意です。また、心不全のむくみでは体重も増えます。

咳、喘鳴(ゼ-ゼ-、ヒュ-ヒュ-という呼吸音)

一般には肺などの呼吸器疾患が原因ですが、心不全が原因のときもあります。熱がない、ピンク色の泡のような痰が出る、動いたときや夜間横になると悪化する、といったものは要注意です。また、これまで気管支ぜんそくと言われたことがないかたに、ゼ-ゼ-やヒュ-ヒュ-、ピ-ピ-といった異常な呼吸音が出たときも心不全を疑います。

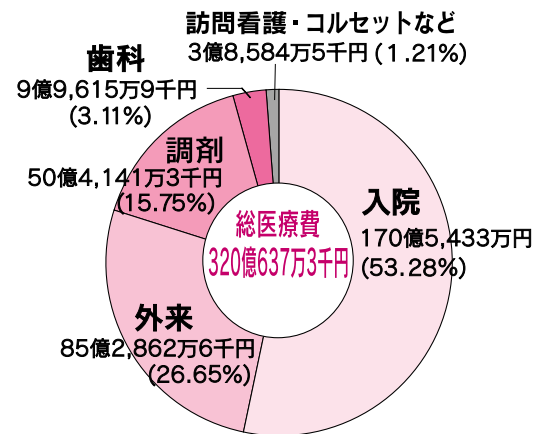
ただしこれらの症状は心不全に限らず、呼吸器疾患、貧血、腎臓病、肝臓病、加齢にともなう体力の低下、自律神経障害などによっても出ることがあります。気になる症状があるときは自分で決めつけず、専門医の診察を受けることをお勧めします。

グラフ 1 秋田市の老人保健医療の総医療費と受給者数

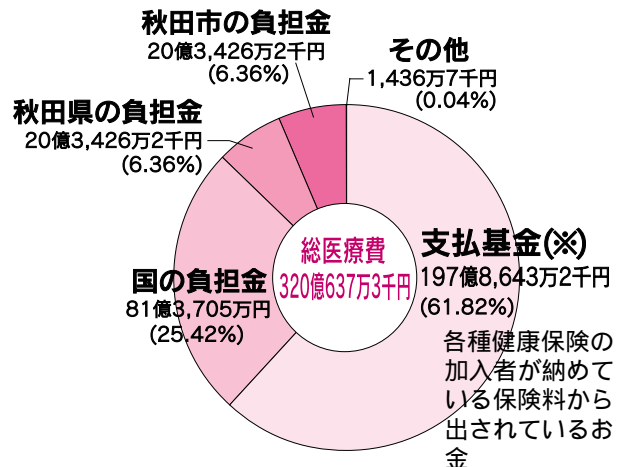


老人保健医療費には、自己負担金や入院時の食事代は含まれていません

グラフ 2 平成16年度秋田市老人保健医療費の使われ方



グラフ 3 平成16年度秋田市老人保健医療費の負担割合



お医者さんにかかるときは、健康保険証と老人保健の医療受給者証を必ず持っていきましょう